

竜二 パンフレット 正誤表 2024年 (有)マコトヤ

タイトルとビリング (金子正次自筆完成挨拶 対抗頁)

美粧：我妻淳子 金森恵美

↓

美粧：我妻淳子 金森恵

物語

山東会→ 三東会

レビュー 背景黒の1頁目 左段3ブロック目と右段2ブロック目

竜二 forever→ 竜二 Forever

キャスト 菊地健二

『聖四畳半戦争』→『聖四帖半戦争』

山東会→ 三東会

キャスト 大塚吾郎

緒方拳→ 緒形拳

山東会→ 三東会

キャスト 壇暄太

山東会→ 三東会

スタッフ 小池直美

『おくりびと』(08年 滝田洋二郎) ほか。

↓

『おくりびと』(08年 滝田洋二郎) ほか。第46回日本アカデミー賞協会特別賞(装飾)受賞。

エンドクレジット

配給スタッフクレジット

配給プロデューサー 日下部圭子

宣伝美術 富永浩一

予告編演出 アレッサンドロ・レオンブルニ Alessandro Leonbruni

協力 平岩瑞基

↓

配給スタッフクレジット

配給プロデューサー 日下部圭子

宣伝美術 富永浩一

公式サイト 安倍知樹 田村重穂

予告編演出 アレッサンドロ・レオンブルニ Alessandro Leombruni

協力 平岩瑞基

参考にした資料について

辻井孝氏→ 辻井孝夫氏

竜二 FOREVER→ 竜二 Forever

金子正次 年譜 1949年

松夫と名付けられる（後に、正次に改名）。

↓

松夫と名付けられる（後に、戸籍法に基づき家庭裁判所の許可を得て、正次に改名）。

金子正次 年譜 1983年2月3日

直後、第二次撮影のための準備開始。大石が正式に監督となり、金子のテイストを活かしつつ脚本を改稿。

↓

直後、第二次撮影のための準備開始。大石が正式に監督となり、金子のテイストを活かしつつ二次撮影のための脚本を執筆。

金子正次 年譜 1983年6月

帰路につこうと銀座駅の切符売り場にいた金子らは東映セントラル配給部長に呼び戻される。

↓

帰路につこうと銀座駅の切符売り場にいた金子らは東映セントラルフィルム配給部長に呼び戻される。

金子正次 年譜 1984年

5月31日、金子正次遺稿集『竜二・ちょうちん』三一書房より刊行。

↓

5月31日、金子正次遺稿集『竜二・ちょうちん』三一書房より刊行（後に『金子正次遺作シナリオ集』幻冬舎アウトロー文庫 1997年8月1日）。

金子正次 年譜 1996年

12月21日、『チンピラ TWO PUNKS』公開（原作：金子正次、監督：青山真治、主演：大沢たかお、ダンカン、配給：ゼアリズ=タキコーポレーション）。

↓

12月21日、『チンピラ TWO PUNKS』公開（原作：金子正次、脚本：金子正次・森岡利行、監督：青山真治、主演：大沢たかお、ダンカン、配給：ゼアリズ=タキコーポレーション）。

金子正次 年譜 1999年

3月27日、『竜二』35ミリ ニュープリント上映

↓ 3月27日、『竜二』35ミリ ニュープリント公開

金子正次 年譜 1999年

2006年（平成20年）

↓

2008年（平成20年）